

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	総務	係	事務事業No.	121112
事務事業名	八坂支所一般管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 11
施策目標							
後期計画掲載頁		頁	個別計画				頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
八坂支所庁舎等の保守管理と一般事務費

事業の目的
施設の定期的な保守管理により、安全で快適な施設環境を保つ。
一般事務費の管理を行い、事務費の節減に努める。

事業内容

- ・庁舎の保守管理のため、電気、浄化槽、エレベーター、消防施設、自動ドアなどの法定定期点検等を業者に委託し、安全で安定した設備管理を行うとともに、故障設備等の早期発見に努める。また、夜間宿直の廃止に伴う警備保障業務を委託し防犯管理を行っている。
- ・文書配達員(臨時職員)を雇用し文書配達を行うことで、本庁との文書交換の効率化と郵送料の削減に努めている。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	総事業費(決算額)	12,458 千円	13,608 千円	15,223 千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	12,458 千円	13,608 千円	15,223 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	電気保安業務点検委託	回/年	12	12	12	12	100.0%	12
	②	浄化槽点検業務委託	回/年	1	1	1	1	100.0%	1
③	エレベーター点検業務委託	回/年	1	12	12	12	100.0%	12	

2. 数値で表せない効果
(指標) 定期的な定期点検、メンテナンス等により、安全、衛生的な施設管理ができています。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

- ・定期的な経常経費であるため比較が難しい。事業費は、施設保守のための修繕費の増減等により変動している。
- ・エレベーターの点検は、設置から16年が経過していることから、年1回の法定点検から遠隔監視装置による毎月点検及び年4回の定期点検を実施するよう変更し、より安全性を高めた。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	継続	法律に準拠した点検の方法、回数、また施設や設備の老朽化の状況等を判断しながら、適正で計画的な保守点検を実施し、安全かつ衛生的な施設の運営管理に努めていく。				
	評価点合計	15	/ 18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	総務	係	事務事業No.	121113
事務事業名	八坂支所車両管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 11
施策目標							
後期計画掲載頁		頁	個別計画				頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
八坂支所で管理している公用車の定期点検、車検整備等の維持管理

事業の目的
公用車の定期点検の実施により、安全な運行管理を行う。

- 事業内容**
- ・八坂支所管理の公用車の共済保険料と車検整備及び定期点検整備実施。
 - ・塩害で腐食した車体の板金整備による耐用年数の延長
 - ・公用車のタイヤ交換

事業費	年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
	総事業費（決算額）		644 千円	991 千円	719 千円
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		644 千円	991 千円	719 千円	

活動指標			平成24度	平成25度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	支所公用車	台	13	13	13	13	100.0%	13
	②							—	

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—

2. 数値で表せない効果
（指標 ）定期点検、車検により、車両の安全が確保されりている。

- ※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等**
- ・共済費、車検代、点検料は同額であるが、タイヤなどの消耗品や車両の経年劣化による修繕により、事業費に変動がある。
 - ・塩カル被害等による車体の錆発生に対する板金修理を行うことで、耐用年数を向上させた。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
	点数	3	2	2	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	走行距離は少ないが、年数の経過した車両が増加傾向にある。塩カル対策の板金修理とこまめな洗車等により、耐用年数の向上に努力する。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	総務	係	事務事業No.	121115
事務事業名	八坂地域振興事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 11
施策目標	地域の一体感の早期確立						
後期計画掲載頁	42	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要

- 地域づくり委員会の開催により、市からの諮問に答申を行うとともに、地区内の課題等について市に提言を行う。
- 地域振興車両の運行により、交通弱者等の交通を確保する。
- 市制60周年、合併10年記念事業をおこなった。
- 地域振興団体等への地域活動支援する。

事業の目的

- 合併後の一体感の早期確立と、活気と特色ある地域づくりの支援を行う。
- 地域振興バスの運行により、交通弱者の交通確保を行う。
- 合併10年を祝い10年間の道筋を振り返る機会とするとともに、イベント等の開催により市内他地区とより一層の融合と今後の地域活性化、発展を促進する。
- 地域の芸術文化の保存と伝承を推進する。

事業内容

- 地域づくり委員会、地域づくり協議会を開催し、地区内の振興策、諸問題等への対応を検討する。
- 診療所の送迎診療、敬老会等の行事の送迎臨時バスの運行を行い、交通弱者である高齢者の足の確保を図った。
- 合併10年を祝いイベント等の開催により、10年間の道筋を振り返る機会と市内他地区との一層の交流が図られた。
- 地域づくり協議会、八坂音頭保存会等への補助金を交付することにより、地域振興と特色ある地域活動の推進と支援を行った。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	6,825 千円	8,856 千円	8,686 千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	6,825 千円	8,856 千円	8,686 千円

指標名		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	地域づくり委員会	回	3	2	3	—	—	—
②	送迎診療	回	82	83	83	—	—	—
③								

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

2. 数値で表せない効果
 （指標 ）合併10年を祝いイベント等の開催により、10年間の道筋を振り返る機会が生まれ、自らが企画立案して、次年度にも継続して行けるような体制づくりが出来た。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	重複なし	高い
点数	3	3	2	3	3	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	過疎地域就職促進奨励金及び起業者育成支援事業補助金が活用されていないことから、地域内の企業へのPRやターン者へのPRなど積極的に行っていく。			
	評価点合計	17	18			

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	121118
事務事業名	八坂定住促進事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 11
施策目標	移り住むやさしく受け入れる町						
後期計画掲載頁	48	頁	個別計画				頁
事業期間	平成 24 年	～	平成 27 年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
 若者の流失等、定住人口が減少する中で定住対策は急務な状況にある。特に集落機能の低下が進んでいる地域が見受けられ、集落の活性化が必要な状況にあることから、拠点集落内に住宅を建設し、定住を促進しながら集落機能の維持、強化を図る。

事業の目的
 人口の減少は、地域社会はもとより過疎地域においては、様々な弊害をおよぼしている。特に集落機能が低下し、限界集落の恐れも見受けられる集落もあることから、定住促進住宅を建設し、若者の定住、集落機能の維持強化を図っていく。

事業内容
 定住促進住宅を拠点となる集落内に建設する。
 ・H25 造成1箇所 用地買収1箇所
 ・H26 造成1箇所 住宅建設3棟 H27 造成1箇所 住宅建設2棟

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	357千円	8,103千円	63,407千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	54,000千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	357千円	8,103千円	9,407千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	用地測量	箇所	2	1	—	—	—	—
	②	用地造成	箇所	0	1	1	1	100.0%	1
	③	定住促進住宅	棟	—	—	2	2	100.0%	2
2. 数値で表せない効果 （指標 ） H26年度に定住促進住宅を3棟建設し3世帯の家族が入居された。									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	計画的に定住促進住宅を建設し、入居者についても定住促進係と連携を図り進めていく。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	17138
事務事業名	八坂観光施設管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	7	項 1 目 3
施策目標	時代のニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁			頁	個別計画			
事業期間	平成	18	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
八坂地区の観光施設は、鷹狩山の展望施設やさざなみなどの施設がある。各施設とも、経年劣化により設備や備品などの更新時期を迎えている状況。快適な施設利用を図るために計画的に維持修繕を行う。

事業の目的
施設利用者が快適に利用できるよう、設備等の維持管理に努める。

事業内容
各施設とも経年劣化により、老朽化した設備や備品等を計画的に修繕し施設の有効利用を図る。

事業費	財源内訳		平成24年度	平成25年度	平成26年度
		総事業費（決算額）	21,790 千円	4,993 千円	6,286 千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		起債			
		その他財源			
	一般財源	21,790 千円	4,993 千円	6,286 千円	

活動指標			平成24度	平成25度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—

2. 数値で表せない効果
（指標 ）指定管理者や施設管理受託者等と協議し、施設及び備品の修繕を行い、施設利用者快適に利用できるよう配慮するとともに、利便性を図る。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
各施設とも、建設後10年以上経過し、経年劣化による修繕箇所が増えている。さらに、突発的な緊急修繕への対応にも苦慮している。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である
	点数	3	2	2	3	3	3
	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続 さざなみについては、施設利用者の動向を踏まえながら、指定管理業務範囲の見直しも含めH28年度指定管理更新に向け検討していく。各施設とも、定期的な施設巡回や指定管理者及び施設管理受託者との連携を図りながら定期的な施設修繕を行う。 評価点合計 16 / 18					

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	171318
事務事業名	八坂温泉宿泊施設管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	7	項 1 目 3
施策目標	時代のニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	25	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
温泉宿泊施設事業特別会計への繰出金

- 事業の目的
- ・明日香荘の施設設備の修繕
 - ・送迎用バスのリース
 - ・室内ゲートボール場の維持管理

事業内容
温泉宿泊施設事業特別会計への繰出金

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	千円	4,742 千円	8,246 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	千円	4,742 千円	8,246 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①						—	—	—
	②						—	—	—
	③						—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標)									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

施設は、建設後10年以上経過していることから、経年劣化による修繕箇所や突発的な緊急修繕が必要。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	適正である
点数	3	3	3	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続					
	評価点合計	18	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	18513
事務事業名	八坂住宅管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	8	項 5 目 1
施策目標	移り住むやさしく受け入れる町						
後期計画掲載頁	48	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	25	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
定住促進住宅の維持管理

事業の目的
定住促進ビジョンに合わせ「子育て世代」や「若者世代」をメインターゲットに地域への定住促進と地域活性化を図る。

事業内容
 明野団地（平成9年度建設 木造平屋建 2戸） 野平団地（平成13年度建設 木造平屋建 2戸）
 明野集合住宅（平成11年度建設 低層耐火構造 1棟4戸） 大門団地（平成12年度建設 木造平屋建 1戸）
 野平団地（平成9年度建設 簡易耐火構造平屋建 2戸） // （平成12年度建設 木造平屋建 1戸）
 // （平成11年度建設 木造平屋建 2戸） 切久保団地（平成26年度建設 木造2階建 2戸）
 // （平成12年度建設 木造平屋建 2戸） 矢下団地（平成26年度建設 木造2階建 1戸）

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	千円	650千円	1,190千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	千円	650千円	1,190千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	定住促進住宅	戸	16	16	19	19	100.0%	19
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					-	-	-
	②					-	-	-
	③					-	-	-
2. 数値で表せない効果 (指標)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	平成25年度の条例改正によりメインターゲットである子育て世代の皆さんが入居しやすくなるよう入居条件の変更や家賃の減額を行い定住促進を図っている。また、建設後8年が経過した住宅については、希望により譲渡も出来ることから入居者と協議している。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	751111
事務事業名	八坂温泉宿泊施設管理費				会計	温泉宿泊施設事業特別会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	1	項 1 目 1
施策目標	時代のニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	25	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 明日香荘は建設後10年以上経過していることから、経年劣化による施設、設備等の修繕が必要となっている。指定管理者と協議するなかで計画的に行っていく。

事業の目的
 明日香荘の適正な管理を行うことにより、利用者の利便性を図る。

事業内容
 施設及び設備の修繕については、指定管理者と協議する中で計画的に行い、明日香荘の適正な管理運営を進める。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	30,710 千円	4,742 千円	8,246 千円	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		起債			
		その他財源			
		一般財源	30,710 千円	4,742 千円	8,246 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①						—	—	—
	②						—	—	—
	③						—	—	—
2. 数値で表せない効果 （指標 ）									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 明日香荘は、指定管理施設として管理運営されているが、施設は建設後10年以上経過していることから経年劣化による修繕箇所も多くみられ、突発的な緊急修繕も必要になっている。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	高い	適正である
点数	3	2	2	3	3	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	協定書にもとづく施設及び設備の保守管理・清掃業務等の調査を行い、施設管理状況の点検、機械器具類の状況等を確認するとともに、計画的な修繕を行い施設の維持管理を図っていく。				
	評価点合計	16	18				